

2026年度 長崎県上五島病院における医療従事者の負担軽減計画

当院では、医療従事者の負担軽減および処遇改善のため、多職種からなる「衛生管理委員会」を中心に、下記の項目について取り組みを行っております。

1. 勤務医（医師）の負担軽減に関する取り組み

項目	目標及び具体的な取り組み計画
タスクシフティングの推進	特定行為研修修了者の推進及び活用 診療看護師の配置 看護師による初診時予診・静脈採血・入院説明・検査説明の実施 医師事務作業補助者の配置 薬剤師による服薬指導、持参薬処方への代行入力 臨床工学技士による医療機器の整備 管理栄養士による食事・栄養に関する指導
労働時間管理の適正化	勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の継続 勤怠システムを用いた勤務間インターバルの確認と確保 連続勤務28時間以内（初期研修医は15時間以内） 予定手術前日の当直に対する配慮や、当直翌日の業務内容に対する配慮など 宿日直許可の取得
複数主治医制の推進	各診療科において当番制の導入を推進していく
短時間正規雇用医師の活用	育児短時間制度を小学校入学までに延長 社会活動等による短時間勤務制度の実施
オンコール体制の構築	診療科ごとにオンコール医師を配置（該当診療科の医師が宿日直担当日を除く）

2. 看護職員の負担軽減に関する取り組み

項目	目標及び具体的な取り組み計画
業務量の調整	病棟の状況に応じた他部署からの応援体制の確保
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師による持参薬の管理 臨床検査技師による中央採血室での採血業務 臨床検査技師による病棟での採血準備、検査後の患者移動 OT・PTによるリハビリ実施前後の患者の移動 診療放射線技師による画像撮影後の患者の移動 診療放射線技師・臨床検査技師による静脈路確保の検討
看護補助者の確保	介護福祉士の配置 主として事務的業務を行う病棟クラークの配置 看護補助者の夜間配置
短時間正規雇用看護師の活用	育児短時間制度を小学校入学までに延長
多様な勤務体制の導入	変則2交代による勤務体制 夜勤専従看護師の配置
妊娠、子育て中、介護中の看護師に対する配慮	夜勤免除制度 半日休暇・時間有休制度 所定労働時間の短縮 他部署等への配置転換
AIを利用した業務負担軽減	外来でAIを用いた問診の実施 AI電話による予約診療の実施
夜勤負担の軽減	月の夜勤回数の上限設定 夜勤専従看護師の配置